

# 工所用仮排水（工所用排水）申請時の添付書類

## 釜場排水の場合

- ① 位置 図：申請場所の位置図(住宅地図等)。
- ② 掘削平面 図：掘削部分、釜場、沈砂槽、接続桝(公共桝)の各位置関係等が確認でき、排水ポンプから沈砂槽を経て、公共下水道に至るまでの経路を明示する。
- ③ 掘削断面 図：GL、掘削底面、釜場、沈砂槽の高さ関係を明示する。
- ④ 釜場詳細 図：釜場の構造、ポンプの設置状態を明示する。
- ⑤ ポンプ資料：使用ポンプの型式カタログ、ポンプの性能曲線図(揚程から吐出量を算出できるもの)、予定排水量。
- ⑥ 沈砂槽構造 図：出口は三角堰(又は四角堰等)の構造とし、各部分の寸法を明示する。(有効容量の算出)なお、排水の水質がSS(浮遊物質)600 mg/L以下の基準を遵守できるようにすること。また、沈砂槽の容量は流入槽から三角堰手前までとし、0.2 mm砂粒子の除去率 50 %以上となる構造とすること。  
〔目安として、ポンプ揚程をポンプ吸込み口から沈砂槽流入口までの高低差とし、ポンプ性能曲線から得られる吐出量を 2分間以上滞留できる容量とすること。〕
- ⑦ 土質柱状 図：掘削底面、地下水位を明示する。
- ⑧ 排水工程表：全体の工程の中に排水予定期間を明示する。
- ⑨ その他：その他状況に応じて指示する資料。

## ディープウェル排水の場合

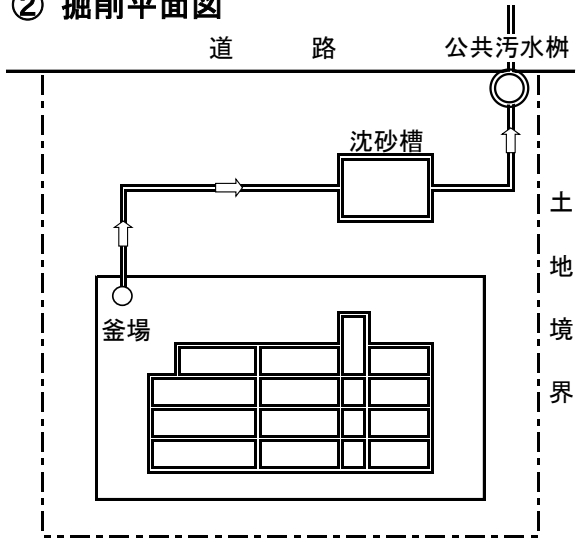
- ① 位置 図：申請場所の位置図(住宅地図等)。
- ② 掘削平面 図：掘削部分、ディープウェル、沈砂槽、接続桝(公共桝)の各位置関係等が確認でき、各井戸から沈砂槽を経て、公共下水道に至るまでの経路を明示する。
- ③ 掘削断面 図：GL、ポンプ、掘削底面、釜場、沈砂槽の高さ関係を明示する。
- ④ ウェル詳細 図：構造、ポンプの設置状態を明示する。
- ⑤ ポンプ資料：使用ポンプの型式カタログ、ポンプの性能曲線図(揚程から吐出量を算出できるもの)、予定排水量。
- ⑥ 沈砂槽構造 図：出口は三角堰(又は四角堰等)の構造とし、各部分の寸法を明示する。(有効容量の算出)なお、排水の水質がSS(浮遊物質)600 mg/L以下の基準を遵守できるようにすること。また、沈砂槽の容量は流入槽から三角堰手前までとし、0.2 mm砂粒子の除去率 50 %以上となる構造とすること。  
〔目安として、ポンプ揚程をポンプ吸込み口から沈砂槽流入口までの高低差とし、ポンプ性能曲線から得られる吐出量を 2分間以上滞留できる容量とすること。〕
- ⑦ 土質柱状 図：ウェル(掘削)底面、地下水位を明示する。
- ⑧ 排水工程表：全体の工程の中に排水予定期間を明示する。
- ⑨ その他：その他状況に応じて指示する資料。

(担当課)札幌市下水道河川局事業推進部 排水指導課排水指導係 Tel 011-818-3422

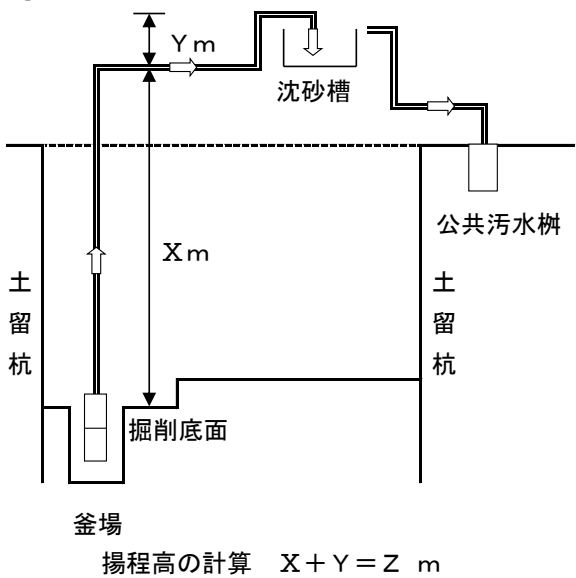
(裏面参照)

# 工事用仮排水（工事用排水）申請時の添付書類図面例

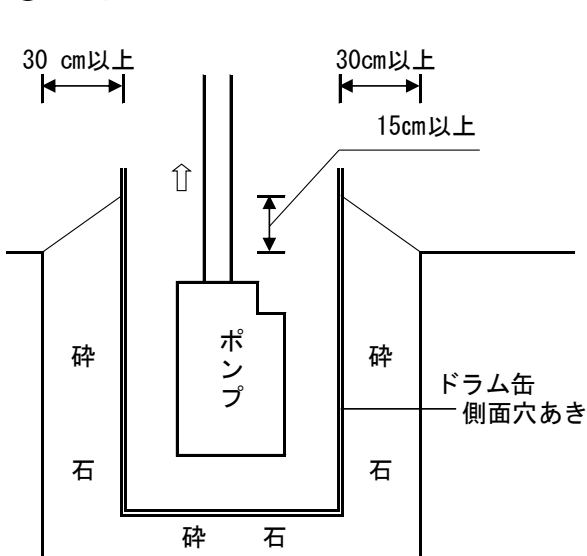
## ② 掘削平面図



## ③ 掘削断面図

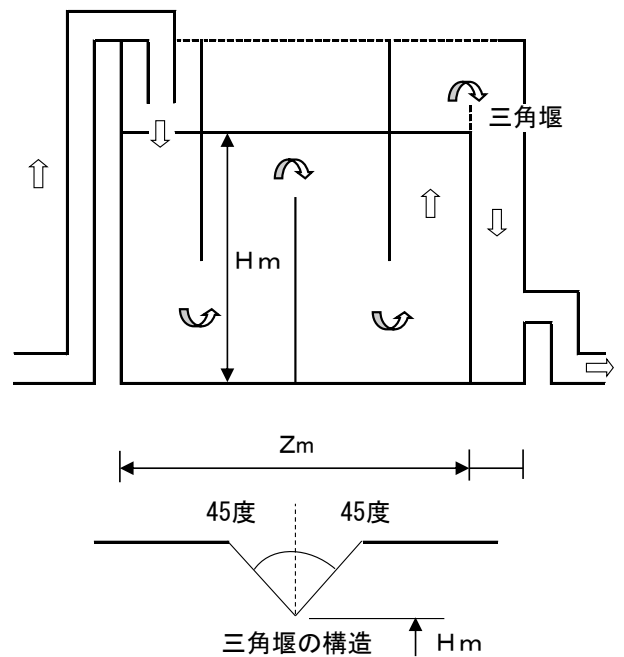


## ④ 釜場詳細図



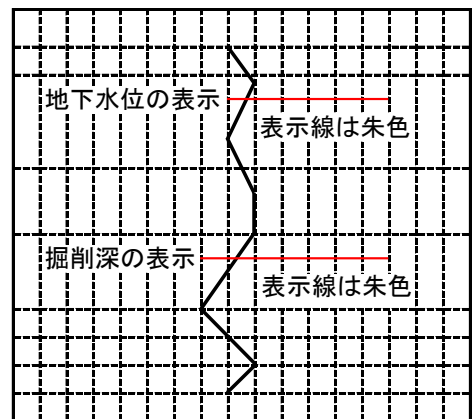
## ⑥ 沈砂槽構造図

「仮排水の下水道使用料算定に関する注意事項」のP12参照



沈砂槽有効容量の計算  
 $Z \times H \times \text{幅} = \text{有効容量}$

## ⑦ 土質柱状図



## ⑧ 排水工程表

〇〇〇工	—			
〇〇〇工		—		
〇〇〇工			—	
排水工	表示線は朱色			—